

③ 雇用の受け皿としてへの期待

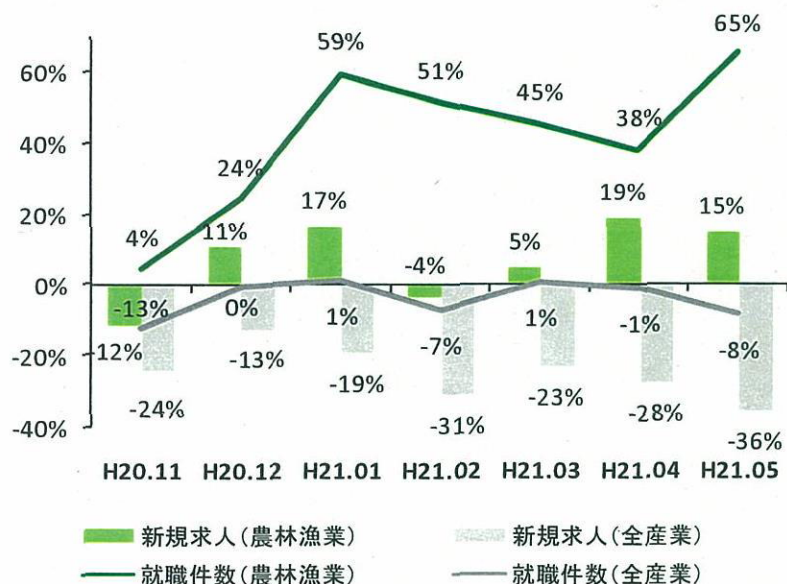
1. 森林・林業を取り巻く情勢の変化

- 世界経済の減速に伴い国内の雇用情勢が悪化するなか、農林漁業の新規求人は増加傾向にあり、就職件数も前年同月比で上回っている状況にある。また、年初に開催した「森林の仕事ガイダンス」には、昨年度を大きく上回る相談者が来場し、林業就業への関心の高まりがうかがえる。
- 公共投資額が減少するなか、間伐等の森林整備事業については、京都議定書の目標達成に向けた森林吸収源対策の実施もあり、公共事業等による雇用の下支え効果が期待できる状況にある。
- 加えて、森林・林業の周辺分野も含めると、人工林への侵入竹の除去、林地残材の搬出、森林境界の明確化など多様な業務が必要とされており、潜在的な雇用が見込まれる数少ない分野でもある。

農林漁業における求人等の状況（前年同月比）

「森林の仕事ガイダンス」の様子

緊急雇用の取組事例



多くの方が訪れた相談ブース

延べ相談者数 3,431人(H19)
↓ (79%増)
6,133人(H20)

竹伐採で雇用創出
山口県が緊急事業 45人以上を即時

景気悪化に伴い、非正規社員らの解雇や雇止めが増えているなか、山口県は5月、竹業の緊急雇用対策事業を始めた。離職者の一時的な雇用創出を狙い、課題となっている竹林拡大の防除。仕事は林内整備や枝

景気悪化に伴い、非正規社員らの解雇や雇止めが増えているなか、山口県は5月、竹業の緊急雇用対策事業を始めた。離職者の一時的な雇用創出を狙い、課題となっている竹林拡大の防除。仕事は林内整備や枝

景気悪化に伴い、非正規社員らの解雇や雇止めが増えているなか、山口県は5月、竹業の緊急雇用対策事業を始めた。離職者の一時的な雇用創出を狙い、課題となっている竹林拡大の防除。仕事は林内整備や枝

日本農業新聞(H21.1.6)

資料:厚生労働省「職業別一般職業紹介状況」より作成。